



和倉温泉に建設される観光交流施設イメージ図

主な事業

新規事業を中心に
ご紹介します

② 産 業

●七尾港客船誘致事業補助金 100万円

▽「飛鳥II」歓迎式典などに対する助成(10月3日 寄港予定)

●(仮称)日本海大漁まつり開催補助金 400万円

いきいき七尾魚、水産加工品や農産物のPR・販売を支援し、地域経済の活性化と消費拡大を図る

③ 教 育

●生涯学習施設快適環境整備事業 283.8万円

▽老朽化の著しい施設を集中的に整備し、利用者に対する利便性の向上を図る(袖ヶ江公民館・山びこ荘・西湊公民館体育館)

●B&G全国ウォータースポーツ大会補助事業 200万円

▽親子100組によるカヌー競技など(8月上旬 能登島海族公園)

●スポーツ施設環境づくり事業 706.1万4千円

▽市内内スポーツ施設の整備充実(総合体育館整備・城山野球場スコアボード改修)

① 地 域 経 営

●まちづくり基本条例策定事業 70万円

▽自治の理念や原則、市民の権利などを定める「まちづくり基本条例」の策定

●集落対策推進(集落支援員の配置)

247万3千円

▽地域の課題や悩みに対処するため「集落支援員」を配置し、集落の維持と活性化を促進する

●和倉温泉誘客広報全国展開事業補助金 1200万円

▽インターネット広告、長谷川等伯J.R京都駅構内広告、富山出向宣伝による広報活動の展開を支援

●能登島魅力創出事業 1000万円

▽のとじま水族館魅力創出に対する支援

●和倉温泉まちづくり事業 5億7200万円

▽観光交流施設建設費、市道和倉2号線高質舗装、照明工事など

●台湾観光団体誘客事業負担金 200万円

▽サイクリング・ゴルフなどの旅行商品を企画するプロモーション事業を実施し、台湾からの誘客を促進

●台宿拠点整備事業 3900万円

▽(仮)和倉温泉多目的広場整備事業

●シーカヤック能登島フェスティバル開催補助金 100万円

▽七尾南湾1周コースで繰り広げられる、シーカヤック能登島フェスティバル開催に対する支援 (6/19~20予定)

●中小企業者資金繰り支援事業 850万円

▽中小企業者の経営の安定を指し、融資制度活用における信用保証料の一部を助成

●ふるさと雇用再生特別交付金事業 6209万7千円

▽地域資源の連携による滞在型旅行商品開発事業、高齢者配食サービス事業、里山里海を生かした滞在型観光推進事業など 9事業・25人

●緊急雇用創出事業 1億979万7千円

▽産業化資源事業化アドバイザー事業、中心市街地空き店舗調査、能登七尾まちなか観光コーディネート事業など 32事業・89人

●就農総合支援事業 1405万円

▽就農支援や耕作放棄地対策などの事業に対する支援

●七尾ブランドのポジション向上のための見本市出店事業 37万5千円

▽首都圏の食の玄関口「築地市場」での見本市を行い、魅力ある水産物のブランド化を図る

④ 芸術・文化

●七尾城跡調査整備事業費

100万円

▽「七尾城跡保存管理計画」に基づき、現史跡指定地周辺部から追加指定に取り組み、史跡七尾城跡の保存と活用を図る

●文化財施設保存活用事業

4500万円

▽市文化財「明治の館」米蔵を修繕し、保存活用する

●長谷川等伯没後400年記念事業

1890万円

▽記念展覧会・演劇公演・講演会などの開催

⑤ 自然環境

●住宅用太陽光発電システム設置 助成事業

200万円

▽1kwあたり5万円の助成(上限4kw)

●グリーンカーテン事業280万円

▽本庁舎、3市民センター、小中学校20校で実施

●家庭用生ごみ処理機導入事業

215万円

▽コンポスト・電気生ごみ処理機の購入に係る経費に対する助成

●七尾美術館収蔵庫・楽屋増築事業

1億8000万円

▽美術品収蔵庫の増築・アートホール楽屋の増築

●文化振興施設魅力向上事業

4963万円

▽七尾美術館・能登島ガラス美術館・中島文化センターの整備



⑥ 福祉・健康・医療

●子ども手当支給事業

8億2715万1千円

▽中学校修了までの児童を対象に、1人につき月額1万3千円を支給

●国際医療福祉専門学校七尾校 補助金

310万円

▽生徒募集の経費および県市外生徒の市内居住にかかる家賃に対して一部支援する

●ねりんピック石川2010大会 開催事業

1200万円

▽第23回全国健康福祉祭いしかわ大会 ふれあいスポーツ交流大会開催(サッカー競技)(10月9日～12日)
会場：(仮称)和倉温泉多目的広場
【ほか】

どのような事業に
どれだけのお金が使われるのか――。

⑦ 生活環境・都市基盤

●防災情報メール配信システム整備 事業

78万8千円

▽防災などに関する情報をメール配信し、災害時の対応や防災意識の普及・啓発を図る

●防災倉庫整備事業

672万円

▽防災拠点整備として資機材を収納する倉庫の設置(モデル地区3地区)

●常時開設資源ごみ集積所設置事業

851万7千円

▽資源ごみを常時出せる場所の開設、本庁および3市民センター

●地域公共交通活性化・再生総合 事業

459万円

▽鉄道とコミュニティバスの連携などの実証実験



問 財政課 ☎53-8455

(特集 まちの予算と仕事 終わり)